

01 事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

水道橋 久 さん

記入者 支援センターひまわり 相談支援専門員 六本木はやと さん

事例タイトル	父親と弟との暮らしが困難になり、グループホームと就 B を利用しながら地域で生活することを希望している事例
相談経過の要約	<p>久さんは、A 市で 2 人兄弟の長男として出生。初語や歩行が少し遅かったが、3 歳児健診などでは特に保健師の指摘事項は無かった。小学校の 1～2 年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きが無く、席を立てて教室を歩き回わり、突然怒りだし友達に手をあげて殴ってしまうことがあった。</p> <p>小学校 3 年生からは、自閉症・情緒支援の特別支援学級に移った。小学校 6 年生の秋に、他の生徒との学力の差、学習環境に馴染めないこと等から、担任からは、中学は特別支援学校への進学を勧められた。その際、児童相談所で療育の判定を受け、軽度の知的障害であった。</p> <p>中学は A 市内にある特別支援学校に進学。中学校での生活は、太鼓部に所属し部活動では楽しく過ごしていた。太鼓部の顧問は、久さんのできる場所は積極的にほめて、苦手なところは根気よく教えてくれた。また昆虫も大好きで、図鑑を見たりしている時は周りの声が聞こえないほど集中していた。同じクラスに昆虫好きの友達がいる。父親が大工だったこともあり、久さんも木工に興味をもって犬小屋をつくった。</p> <p>久さんが中学校 2 年生の秋に両親が離婚。母親が統合失調症で自分のことでせいっぱいで家族の面倒をみられなくなり家を飛び出してしまった。以後、父親と弟の 3 人暮らしとなった。その後、久さんは母親と 1 年に 1～2 回は会っている。離婚後、父親は家のことを何とかこなしていたが、徐々に家の中が乱雑になり、久さんも学校を休みがちになった。</p> <p>久さんは、特別支援学校の高等部を卒業し、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司がいて久さんも素直に対応した。上司がわかるまで丁寧に教えてくれて、ときに叱咤激励してくれたことで、安心して働いていた。しかし、1 年後に上司が変わり、その上司が他の職員の対応に追われて、久さんにあまり気を配らなくなった。それから半年後に、久さんは「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」などの不安を訴え、工場に通えなくなり、そのまま退職してしまった。それ以降「誰とも会いたくない」と話して、求職活動もなかなかできず自宅でのひきこもり状態の生活になっていた。</p> <p>久さんが退職して半年後、大工をしていた父親が通勤途中で交通事故にあい大けがをした。父親も右半身に麻痺が残り、仕事ができなくなった。最初のころは貯蓄で何とか生活していたが、すぐに生活保護となった。それまで父親が家事などを行っていたので、さらに乱雑な状態となり、食事も偏りが見られた。</p> <p>父親から「久の面倒をみていくことができない。何とか施設に入れてもらえないか」と市役所に相談があり、久さんも「お父さんと離れて、自分で生活できるようになりた</p>

	い」と希望した。久さんは、相談支援センターひまわりで相談を始めて、見学等も行う中「相談しながらやっていきたい」「今は朝も起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」。でも、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」ので「一人暮らしに向けた準備をしたい」し「すぐに働く自信はないのでそのために力をつけたい」とグループホームを利用しながら、就労継続支援 B 型事業所に通所することを希望した
年齢・性別・家族構成・家族状況・現在の居住歴	年齢 22 歳 性別 (男性) A 市で生まれ。 家族構成 父：ももとは大工。以前はとても面倒見が良かった。無職 交通事故で右半身に麻痺が残る。何とか自分のことはこなせるが、子どもたちの世話をすることができなくなっていた。久さんの施設入所を考えていたが、久さんの「自立したい」という気持ちを聞いて、久さんには福祉サービスを利用して自立してほしいと思っている。 母：A 市から少し離れた B 市に居住。生活保護を受給して一人暮らし。統合失調症の治療中で、久さんとの同居は難しい。年に 1~2 回久さんと会っている。 弟：5 歳下。高校 3 年生。高校卒業後は就職する予定だが、兄の面倒までは見られないとのこと。
手帳・区分	療育手帳 障害程度は軽度 障害支援区分 3
生活歴及び病歴	【生活歴】 A 市で生まれ育つ。初語や歩行は少し遅かったが、特に保健師からの指摘事項はなかった。小学校 3 年生から情緒支援学級に通学、中高は特別支援学校に通学。好きなこと（木工や昆虫図鑑を見ること）は集中して取り組むことができるが、興味が無いと席に座っていることができない。また中学・高校は太鼓部に所属し、地域の演奏会などに参加。友達も数人いたが、自分から積極的に作るタイプではなかった。どちらかという受け身的な性格であり、話かけられるのを待つ方だった。困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。 仕事はしたいと思っていたが、またうまくいかないのではないかと、求職活動はできずにいた。 【病歴】 中学校進学時に、児童相談所で判定を受け療育手帳を取得。仕事を辞めた後、自宅で引きこもった生活をしてきた。生活保護の担当 CW の勧めもあり、精神科病院を受診。診断名は知的障害。眠剤と安定剤を 1 日 1 回処方されて飲み始めた。受診してからは、夜少し眠れるようになったと話す。
経済状況	障害基礎年金申請中 補足給付：家賃 10,000 円 (申請中) 生活保護受給。
相談に至る経緯	父親から久の生活の面倒が見られないので、施設に入所させたいと市役所に相談。
望んでいる暮らし	久さんの希望は、「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」「自分のことは自分でできるようになりたい」「困りごと相談したい」「将来は一人で暮らしたい」と思っているが、「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」ことに

	<p>困っている。そのため、「3年後ぐらいにはまた働きたい」「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1人でコツコツと集中できる作業が好き」「働くときには優しい上司がいるところが良い」と話している。友達がうまくつくれなことを気にして「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができたら最高」と言っている。</p> <p>自分で自立した生活というイメージがまだ持てていないが、周りの人の協力が得られれば、十分地域で生活できると、生活保護の担当者は考えている。</p> <p>久さんは、「3年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」と言っている。</p>
本人の状況と最近の様子	<p>久さんは、こちらから話かけるとポツポツと返答するが、話をするのは好きな様子。久さんからの質問はほとんどない。久さんの見た目は年齢相応の好青年である。ただ生活に困窮しているので、服装には少し汚れが目立っていた。相手の話を「はい、はい」と返事をするので、分かっているように見えるが、なかなか理解はできない様子。</p>
その他	<p>父親の右半身に麻痺が残り、これ以上の回復は望めない状態。</p> <p>弟は、普通高校に通い、健康状態の問題は特に無い。</p>

アセスメント表

記録：相談支援センターひまわり 相談支援専門員：六本木はやと

相談日時	平成30年6月5日 13時～15時
氏名等	水道橋 久氏、22歳 男性 知的障害（軽度） 障害支援区分 3 （月1回精神科受診）
望んでいる暮らし	<p>全体</p> <p>「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」</p> <p>「困りごとは相談したい」</p> <p>「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」</p> <p>生活面</p> <p>「自分のことは自分でできるようになりたい」</p> <p>「将来は一人で暮らしたい」が「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」</p> <p>「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができたら最高」</p> <p>就労面</p> <p>「3年後ぐらいにはまた働きたい」</p> <p>「今は働くことの自信はないので力をつけたい」</p> <p>「1人でコツコツと集中できる作業が好き」</p> <p>「働くときには優しい上司がいるところが良い」</p>
心身の状況	<p>身長 175 cm 体重 80 キロ</p> <p>特に問題ない。久さんは最近肥満体形になってきているのを気にしている。</p>
精神面の状況	<p>突然怒り出したりすることは、以前に比べれば少なくなってきた。ただ自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。</p>

	<p>見た目は大人しそう。高校時代の担任の先生は「普段は、穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。父親を尊敬していて世話になったと思っている。</p>
生活の自立度	<p>朝起きるのが苦手な生活リズムがなかなか安定していない。ADLは自立している。家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないか。やり方や手順について確認する必要がある。</p>
気持ちの自立度	<p>家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、始めは戸惑うこともあると思われる。また、自分の思い通りにならないと、他の方とトラブルになる可能性もあるので、イライラしそうなときには早めに職員に伝えられるとよい。</p>
服薬状況	<p>夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。</p>
経済状況	<p>【収入面】 生活保護 【支出面】 グループホームの費用 家賃 30,000 円（家賃補助 10,000 円） 食費 20,000 円 高熱水費 15,000 円 日用品費 3,000 円 生活費（おこづかい） 20,000 円 金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。</p>
趣味	<p>昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など</p>
キーパーソン	<p>父親。交通事故で右半身に麻痺があり自分のことで精一杯な様子。</p>
家族	<p>父方母方の祖父母について 父方の祖母は県外（遠方）にいるが、母方の祖父母は他界している。 両親と暮らしていたころは、年1回は家族で父方祖父母に会いに行っていた。</p>
就労	<p>手先が器用で興味をもつと集中できる。また、面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感を述べる。「1人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことがないが、練習しだいでは利用できそうである。</p>

02 アセスメントシート

氏名 水道橋 久 記入 相談支援専門員 六本木はやと

	日常生活面			特記事項			
	項目	介助が いるか	程度	項目	介助が いるか	程度	
日常生活面	起居動作	起き上がり	<input type="checkbox"/> 有		衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有
		寝返り	<input type="checkbox"/> 有			爪切り	<input type="checkbox"/> 有
	姿勢保持	座位	<input type="checkbox"/> 有		耳掃除	<input type="checkbox"/> 有	
		立位	<input type="checkbox"/> 有		月経	<input type="checkbox"/> 有	
	移動	屋内	<input type="checkbox"/> 有		行排為	排尿	<input type="checkbox"/> 有
		屋外 (徒歩)	<input type="checkbox"/> 有		排便	<input type="checkbox"/> 有	
	衣類着脱	着脱行為	<input type="checkbox"/> 有		食事全般	飲食行為	<input type="checkbox"/> 有
		服装の選択	<input type="checkbox"/> 有		食事状況	<input type="checkbox"/> 有	
	整容行為	歯磨き	<input type="checkbox"/> 有		食事の後片付け	<input type="checkbox"/> 有	
		洗顔	<input type="checkbox"/> 有		調理全般	調理	<input checked="" type="checkbox"/> 有
		整髪	<input type="checkbox"/> 有		安全確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
		ひげ剃り	<input type="checkbox"/> 有		入浴全般	入浴の準備と片付け	<input type="checkbox"/> 有
		化粧	<input type="checkbox"/> 有		入浴	<input type="checkbox"/> 有	
					家事全般	洗濯	<input checked="" type="checkbox"/> 有
						洗濯物干し	<input checked="" type="checkbox"/> 有
				掃除	<input checked="" type="checkbox"/> 有		
				衣類整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有		
				所持品整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有		
				ヘアメイク	<input checked="" type="checkbox"/> 有		
コミュニケーション	<p>困ったときに相談しているところ 生活上の支援機関、支援者など</p> <p>相談支援センター「ひまわり」・・・サービス等利用計画作成 相談支援</p> <p>就労センター「スマイル」・・・利用予定の就労継続支援B型</p> <p>グループホーム「ピアハウス」・・・利用予定のグループホーム</p> <p>西村病院（内科・精神科）・・・外来通院先</p> <p>意思の表現方法</p> <p>言葉でのコミュニケーションが十分できる。最初の上司が仕事を教えていた時は、時間がかかるが分かるまで教えてくれたので、本人も安心して仕事できていた。手順が分かれば、呑み込みが早い。ただ自分から積極的に質問するタイプではなく、困ったことや心配なことがあっても自ら相談することができなかった。周りの人は分かっていると思って仕事をすすめてしまうので、本人は分からずに少しパニックになってしまうことがあった。</p>						
社会参加・移動	<p>好きなこと 昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。買い物やゲームなど</p> <p>嫌いなこと 怖そうな人・すぐに怒りそうな人</p> <p>移動の方法 徒歩 これまで公共交通機関を利用する機会はなかったが、練習すれば利用できそう</p>						
家庭生活	<p>グループホームで生活をする予定</p> <p>家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 ももとは大工。交通事故で右半身に麻痺が残り、自分のことをこなすことで精一杯な状況。</p>						
経済状況	<p>主な生活財源 生活保護受給中。 預貯金</p> <p>就労による収入 0円/月 0円</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>基礎年金申請中 <input type="checkbox"/>障害者特別手当 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。</p>						

	項目		程度	特記事項	
		介助が いるか			
行動面	行動面での障害1	こだわりの行動	<input checked="" type="checkbox"/> 有	自分の手順があり、変更されるとパニックになる	
		徘徊	<input type="checkbox"/> 有		
		無断外出 無断外泊	<input type="checkbox"/> 有		
		錯覚・幻視・幻聴	<input type="checkbox"/> 有		
		被害妄想	<input checked="" type="checkbox"/> 有		近所の人たちからハカにされていると思っている。
		自殺願望・企画	<input type="checkbox"/> 有		
		不潔行為	<input checked="" type="checkbox"/> 有		声掛けがあれば身だしなみを整えるが、放っておかれると着替えたりできない。
		異食行為	<input type="checkbox"/> 有		
		収集癖	<input type="checkbox"/> 有		
		物忘れ	<input type="checkbox"/> 有		
		反社会的行為 (盗癖、虚言など)	<input type="checkbox"/> 有		
	行動面での障害2	自傷行為	<input type="checkbox"/> 有	物事の進め方が分からないと起きる。	
		他者に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有		
		器物に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有		
		奇声や騒がしさ	<input type="checkbox"/> 有		
		パニック	<input checked="" type="checkbox"/> 有		
		多動・行動の停止	<input type="checkbox"/> 有		
	感情・障害	感情不安定	<input checked="" type="checkbox"/> 有	困ってしまうと感情も不安定になる。	
		過大・過小評価	<input type="checkbox"/> 有		

特別支援学校卒業後は、製造部品を作る工場に就職していた。面倒見の良い上司の元では、素直に支持を受け入れ、元上司も根気よく教えてくれていたらしく、安心して働いていた。上司が変わり、あまり面倒見てもらえなくなってからは、「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」など心配を訴え退職した。

本人は、周りの人からは仕事のことなど分かっているとされるタイプで、仕事が断れない。仕事で困っていても、自分から相談したりできず、どんどん抱え込んでしまい不安をたくさん抱えてしまう。

2年ほど自宅で引きこもり状態。父親が交通事故にあい、右半身に麻痺がのこり、本人の面倒が見られなくなった。

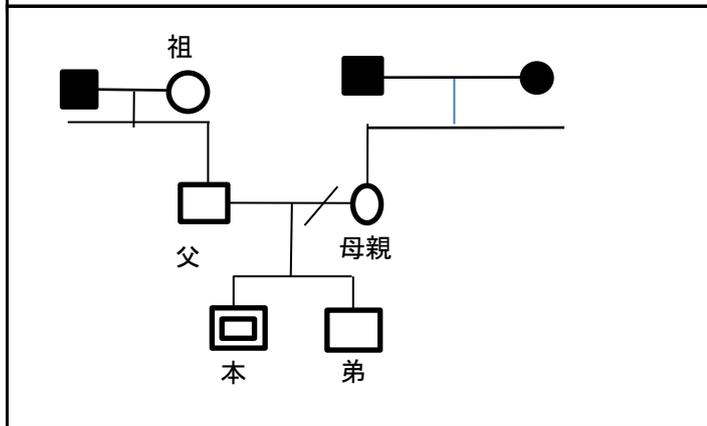
声掛けがあれば、家のことを少し手伝ったが、どのように進めれば良いのか分からなくなってしまふことが度々あった。調理、洗濯、掃除の仕方など根気よく教えてくれる人がいなかったため、経験が積み重なったのだと思う。

仕事についても、以前の会社で人間関係がこじれてしまって離職したので、働きながら何か困ったときには相談できること、サポートを受けながら就労できるB型事業所の利用を希望した。

見守りの環境が整えば、力を発揮することは可能だと感じる。

《その他》

主治医からは、薬は軽いものなので、生活が安定し、精神的に安定すればいずれ必要がなくなるかもしれない。本人が困っている時に、周りが気づける関係性ができると、これ以上の薬の必要性はないと言う。そのためには生活の場でのサポート体制は欠かせない。S OSを出す力をつけられると思っている。



03 学齢期の情報

*以下の情報については、担当の相談支援専門員が久さんの過去のことを知る関係者を探し、情報を得たものである。

<p>小学6年生の時に受けた児童相談所における判定状況</p>	<p>I Q 6 8 といった記録はあるが、詳しいデータは不明。</p>
<p>教育関係者からの情報</p>	<p>中学の太鼓部の顧問だった先生より、「中学一年の頃は、よくしゃべる子だった。張り切って何でもやりたがる子だった。幼い頃は、よく動き回る子だったと母親から聞いたことがある。」という話があった。</p>
<p>中学に入学後に母親と相談に行ったことがある専門機関からの情報（その後、年に一回のペースで数回その機関に通っている。離婚後もしばらく母親が連れて行っていた。）</p>	<p>「母親がとても心配そうに久さんを連れてきて、『久はやさしい子です。でも乱暴なところがあるからと、学校から追い出されてしまったんです。何ができていないかを知りたいのです。』と訴えてきたので、印象に残っていますとのこと。（以下のことは、5年前の高等部二年生の時の状態について、聴取したことをまとめたもの。）</p> <p>日付、時刻～よく理解できている。</p> <p>数、数量～計算には時間はかかるが、二桁までの加減は大体良好。三桁になると難しい。買い物の時には、大きな金額の札で支払いおつりをもらっていた。</p> <p>書字～筆圧が弱く、読み取れない字も多く、線が一本抜けていたり、多かたりする。筆順は自分なりの書き方。</p> <p>読み～一、二行の文章はわりとすんなりと読むことができていた。難しい漢字でも知っているところがあった。読み違い（勝手読み）は目立っていた。</p> <p>聞き取り～一対一での指示は入っていくが、集団のおける指示はほとんど入らない。特に周囲で誰かが話しているとその話にも気をとられてしまう。三人以上で話し合うことはかなりストレスになる。早合点してしまうことも目立つ。</p> <p>話すこと～慣れた相手だと、早口になる。筋道の通った話をするのが難しく、何が言いたいのか周りに伝わりにくいことがある。</p> <p>比較・推測すること～予想することは苦手。どうすればいいのかを考えて、自分の考えを述べることも難しい。自分の意思を言葉で表すことはできるが、誰かに言われたことをまねているだけのことも多い。</p>

特別支援学校高等部の元担任からの情報

指導上の留意点について～

- ① 同じような内容のことについても、理解できているときとそうでないときの差が大きい。特に集団の場面では、話したことが届かないことは多かった。
- ② 自分でできないときになかなかヘルプコールが出せない。
- ③ 教えられたことを忠実にやろうとするが、思った通りにならないと、何か理由をつけてやっていることを止めてしまうことがあった。
- ④ 人に認められたい気持ちはとても強く持っており、虚勢を張ってしまうところが度々見られた。
- ⑤ なかなか伝えたことが身につかないときに、繰り返していねいに声をかけていくと腹を立ててしまうことがあった。

支援目標を達成していく上で効果が認められたこと～

- ① 作業していく内容については、他の生徒がいない教室で、担任と一対一で見本を示しながら教示していくと、5～6工程の内容でも対応できることは多かった。
- ② やるべきことについての内容とその手順は、料理のレシピのように、写真を添えて文章で示すと、自分で確認しながら取り組めることが多くなった。

04 サービス担当者会議 事前準備シート

確認が必要な事項(誰に何を確認する?)	意見を述べる事項(誰に何を述べる?)

配付資料 05 サービス担当者会議 シナリオ（例）

	氏名
本人	水道橋久
父親	水道橋つばさ
相談支援専門員	六本木はやと
A市福祉課	日比谷みずほ
共同生活援助ピアハウス サービス管理責任者	川崎まさお
世話人	豊田のぞみ
就労継続支援B型スマイル サービス管理責任者	本田一郎
生活支援員	鈴木さくら

六本木：みなさんこんにちは、今日は、水道橋久さんのサービス担当者会議にご出席いただきありがとうございます。今日の会議では、久さんの「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」というご希望をかなえるためにどんなことに取り組んでいけばいいのかということをおとさんと一緒に考える機会にしたいと思います。それでは、出席者の方の自己紹介をお願いします。

久さん、つばささん、日比谷さん、川崎さん、豊田さん、本田さん、鈴木さん。

六本木：ありがとうございました。久さんからは、グループホームのピアハウスに入居して、就労継続支援B型のスマイルに通所しながら自立を目指したいとかがっていますが、そのあたりのご希望を教えてくださいませんか。

久：僕は、自分のことは自分でできるようになりたいと思っています。でも、今は朝もなかなか起きられないし、掃除や洗濯、調理もできないで困っています。

六本木：そうですか、仕事についての希望はありますか。

久：3年後ぐらいにはまた働きたいと思っています。でも、今は働くことの自信はありません。だから、力をつけたいです。1人でコツコツと集中できる作業は好きです。働くときには優しい上司がいるところがいいですね。

六本木：ほかに生活していく上での希望はありますか。

久：友達がうまくつくれないんです。一緒に遊ぶ友達が欲しいです。できれば、昆虫の話ができる友達ができたら最高です。

六本木：それでは、お父様のお考えもお聞かせいただけますか。

つばさ：そうですね。私も体が不自由になってしまい久の面倒はみられません。それで、施設入所を考えたんですが、久は「力をつけて自立したい」と言っています。それで私も気持ちが変わって、今は、久には福祉サービスを利用して自立してほしいと思っています。あせらずにグループホームで生活の練習をして力をつけてほしいです。

六本木：ありがとうございました。久さんはこの間、ピアハウスを体験利用されましたが、どんな感じでしたか。
久：やー。朝起きるのが苦手なんですよね。なんか迷惑かけちゃったんじゃないですか。洗濯も掃除も調理も今までほとんどやったことがないので教えてもらいました。できるようになりたいですね。
六本木：どうですか。そのあたりのことも含めて、ピアハウスの川崎さんと、豊田さんからお話しいただけますか。
川崎：とても、やる気がある方ですから、掃除、洗濯、調理などの日常生活の力は少しずつつけていきましょう。
豊田：確かに、朝起きは苦手でしたね。就寝時間なども相談して決めましょう。
六本木：久さんが思っていることが他にもありましたらお話してください。
久：いやー。困りごとがあった時には相談に乗ってくれる人がいれば安心できると思っています。
六本木：そうすると、久さんのピアハウスでの目標は、一人暮らしにむけた準備をしたという希望の達成のために、まずは、グループホームの生活に慣れること、掃除や洗濯、調理等の生活力をつけることや、困りごとを相談できるようになることですね。
久：そんな力をつけたいですね。
つばさ：皆さんの力を借りて、久にはしっかり力をつけてほしいと思っています。
六本木：さて、次に通所サービスの利用を考えて、スマイルの体験利用もされましたが、久さんいかがでしたか。
久：できれば製造や木工関係の仕事に就きたいです。スマイルでは、組み立ての仕事をしたいのですが、いろいろな作業をしてみて得意なことをみつきたい。
六本木さん：そうですね。スマイルの本田さんと鈴木さんからもそのあたりのご意見をいただければと思っているのですが。
本田：楽しい雰囲気の中久さんのできることを増やしていきたいと思っています。久さんは手先が器用で丁寧に仕事をこなしていました。
鈴木：体験利用は一生懸命にやっていたので、引き続き頑張ってもらいたいと思います。久さんがおしゃっているようにいろいろな作業をしてみて得意なことをつけて自信をつけましょう。
久：よろしくお願いします。
六本木：それでは、久さんのスマイルでの目標は、働くための力をつけるために、いろいろな作業経験を積んで自信をつけることになりますね。
久：はい。頑張ります。
六本木：ありがとうございました。それでは、サービス等利用計画を確認させてください。市役所福祉課の日比野さんいかがでしょうか。
日比野：久さんの自立に向けた計画書になっていると思います。
六本木：それでは、モニタリングは平成30年の8月になりますので、よろしく願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

配付資料 06-01 サービス等利用計画(案)

利用者氏名	水道橋久	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		

計画作成日	平成30年 6月 5日	モニタリング期間(開始年月)	平成30年8月	利用者同意署名欄	
-------	-------------	----------------	---------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。</p> <p>父親は「私も体が不自由になってしまい久の面倒はみられません。久には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合的な援助の方針	<p>グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。</p>
長期目標	<p>① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。 ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③ 相談する力をつける。 ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。</p>
短期目標	<p>① グループホームの日常生活に慣れる。 ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③ わからないことや困っていることを相談する。 ④ 昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。</p>

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身につける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことなどで困ったり、不安だったりを相談できるようになる	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
4	楽しみをみつきたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	

配付資料 06-02 サービス等利用計画

利用者氏名	水道橋久	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		

計画作成日	平成30年 6月 5日	モニタリング期間(開始年月)	平成30年8月	利用者同意署名欄	
-------	-------------	----------------	---------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)

久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。

父親は「私も体が不自由になってしまい久の面倒はみられません。久には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。

総合的な援助の方針

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

長期目標

- ① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。
- ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。
- ③ 相談する力をつける。
- ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。

短期目標

- ① グループホームの日常生活に慣れる。
- ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。
- ③ わからないことや困っていることを相談する。
- ④ 昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	ピアハウス サービス管理責任者 川崎 生活支援員 名古屋 世話人 豊田	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	スマイル サービス管理責任者 本田 生活支援員 鈴木	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことなどで困ったり、不安だったりしたことを相談できるようになる	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	ピアハウス 豊田・名古屋・川崎 スマイル 鈴木・本田 ひまわり 六本木 西村病院 西村	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
4	楽しみを見つけたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	ピアハウス 川崎 スマイル 本田 ひまわり 六本木	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	

07 ニーズの整理表

グループ

利用者名 水道橋 久 さん

No	サービス等利用計画で整理された 解決すべき課題（本人のニーズ）	初期状態の評価 （利用者の状況・環境の状況）	支援者の気になること・推測でき ること（事例の強み・可能性）	願いや希望を満たすための具体的な 到達目標

08 ニーズの整理表（共同生活援助）

グループ

利用者名 水道橋 久 さん

No	サービス等利用計画で整理された解決すべき課題（本人のニーズ）	初期状態の評価 （利用者の状況・環境の状況）	支援者の気になること・推測できること（事例の強み・可能性）	願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごとは相談したい。</p> <p>楽しみをみつけない。</p>	<p>知的障害（軽度）障害支援区分3 小学校3年生から情緒支援の特別学級に移り、中学校は特別支援学校に進学。中学進学の際、児童相談所で軽度の知的障害の判定を受けた。</p> <p>特別支援学校高等部を卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしてきた。</p> <p>困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。</p> <p>趣味は、昆虫の図鑑を見ること、手先が器用なので木工が好き。お菓子やケーキなどの買い物が好き。</p>	<p>自立した生活のイメージは持っていない様子だが、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」と思っている。</p> <p>「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1人でコツコツと集中できる作業が好き」と就労意欲はあるが、自信を失っている。「朝もなかなか起きられない」ことを自覚している。</p> <p>相手の話は、なかなか理解はできない。丁寧に教わると安心できる。</p> <p>好きなことは集中して取り組むことができる。「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができたら最高」と思っている。</p>	<p>○ 掃除や洗濯、調理等、自分ができることを増やしていきたい。</p> <p>○ 朝、起きる時間を決めて自分で起きて仕事に行けるようになりたい。</p> <p>○ 生活上のわからないことや困りごとを、相談できるようになりたい。</p> <p>○ 楽しみをみつけない。</p>

09 ニーズの整理表（就労継続支援B型）

グループ

利用者名 水道橋 久 さん

No	サービス等利用計画で整理された解決すべき課題（本人のニーズ）	初期状態の評価 （利用者の状況・環境の状況）	支援者の気になること・推測できること（事例の強み・可能性）	願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごとは相談したい。</p> <p>楽しみをみつけない。</p>	<p>知的障害（軽度）障害支援区分3 小学3年生から情緒支援の特別学級に移り、小学6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学からは特別支援学校へ、その後高等部に進学。</p> <p>高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと安定して働いたが、1年後に上司が変わり、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしてきたが、今回、グループホーム「ピアハウス」に入居予定。</p> <p>困っても自ら相談できない。会話はできるが、自分の意思を正確に伝えることは難しい。</p> <p>趣味は昆虫図鑑を見ること。</p> <p>昆虫の話ができる友達がほしいと思っている。</p>	<p>支援者の気になること・推測できること（事例の強み・可能性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3年後を目途に一般就労したいが、今は働くことに自信がない」とのこと。就労意欲はあるが、自信を失っている様子。 ・「1人でコツコツと集中できる作業が好き」 ・公共交通機関は練習すれば利用できると思われる。 ・朝起きるのが苦手ということを自覚している。 ・「自分のことは自分でできるようになりたい」とのこと。自立したいという気持ちが強い。 <p>集団の中での聞き取りや話の理解は困難だが、一対一で丁寧に話をすると安心して話せる様子。</p> <p>中学の頃はよくしゃべる子だった様子。好きなことには集中して取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信を取り戻したい ○ 遅刻をせずに事業所に通所したい バスを利用しての通所ができるようになる ○ 困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようになりたい ○ 楽しみをみつけない

10 個別支援計画

利用者氏名:

作成年月日 / /

サービス等利用計画の総合的な方針

到達目標

長期目標(内容・期間等)
目標を加える。

* 必要に応じてサービス利用終了時の

短期目標(内容・期間等)

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的 到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間 等)	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

平成 年 月 日

利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

印

配付資料 11 共同生活援助事業所 個別支援計画(案)

利用者氏名： 水道橋 久さん

作成年月日 H30 / 6 /

【総合的な援助の方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

【到達目標】

掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。

【短期目標】 ① グループホームの生活に慣れる。② 決まった時間に起きる。③ 困りごとを相談する。④ 生活上の楽しみをみつけるための相談をする。

【長期目標】 ① 掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身に付ける。② わからないこと困りごとや相談して解決できるようになる。③この間にみつけた生活上の楽しみを続ける。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分で出来る事を増やしていきたい。	掃除や洗濯、調理など、まずは出来る事からやってみます。わからない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方や料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。	毎日	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい。	目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	目覚ましを鳴り続けていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。 起きられない時が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。	月～、金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	2
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい。	わからないことや困りごとは早めに相談します。まずは、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話すことから始めます。	わからないことや困りごとはいつでも話を聞きます。まずは、毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時はいつでも 毎日 夕方 5時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
楽しみをみつきたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。	久さんが、楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。	第2・第4土曜日 朝 10時	川崎(サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日： 平成 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎 まさお

印

配布資料 12 就労継続支援B型事業所 個別支援計画(案)

利用者氏名： 水道橋 久さん

作成年月日 H30 / 6 /

【総合的な援助の方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

【到達目標】

自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3年後には一般就労をして立派な男になる

【短期目標】

- ①作業手順を覚えて、作業に慣れる。
- ② バス通所にチャレンジする。
- ③困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談する。

【長期目標】

- ① 働くための力をつけるために様々な作業体験を積んで自信をつける
- ② 困ったり、不安なことを相談して解決できるようになる

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信を取り戻したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得手・不得手を分析するために様々な作業を体験しましょう。 ・まずは、1人でコツコツと集中できる組立作業に取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作業体験ができるような就労アセスメントのプログラムを作ります。 ・少人数のグループで、得意な組立作業を体験できるようにします。 	月～金 9:30～16:00	松阪 (職業指導員)	1
遅刻をせずに事業所に通所したい。 バスを利用した通所ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた時間に起きるようにしましょう。 ・バス通所にチャレンジしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方を覚えるために生活支援員と一緒にバスに乗降します。・乗り方を覚えたら、一人でバスに乗降できるようにバス停で見守りをします。 ・ご希望がある時は、グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援することができます。 	月～金 8:45～9:15 16:30～17:00	鈴木(生活支援員) 本田(サビ管)	2
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや心配事がある時は、スタッフに伝えましょう。 ・気持ちが不安定になり、イライラしそうな時は、すぐに相談しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。 ・何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。 	面談:毎週水曜日 13:00～ 困った時・不安な時はいつでも	本田(サビ管) 松阪(職業指導員) 鈴木(生活支援員)	2
楽しみをみつきたい。 :	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな昆虫図鑑のこと、友達関係のこと等、話をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみを見つけるために、スタッフと一対一で話ができる時間を作ります。 	第3月曜日 9:30～10:00	鈴木 (生活支援員)	3

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

就労継続支援B型事業所「スマイル」

確認年月日：平成 年 月 日

利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

本 田 一 郎

印

13 個別支援計画の中間評価

						利用者名 水道橋久さん	
到達目標	達成状況の評価			現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位	
1	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
2	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
3	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
4	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			

14 個別支援計画の中間評価(共同生活援助)

						利用者名 水道橋久さん	
到達目標	達成状況の評価			現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位	
1	自分でできることを増やして行きたい	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<p>世話人の説明をよく聴き、調理の仕方や洗濯機の使い方、掃除の仕方は少しずつできてきている。わからないことを自分から、確認することはできていない。</p> <p>・スマイルに通所することには張合いがあるようだ。</p> <p>・生活していく上での力をつけたい気持ちが強いが、毎日の生活に追われて、心にも体にも余裕がない。そのため、自分はダメだと思ってしまうようだ。</p>	
2	朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<p>朝は目覚まし時計がなっているが、しばらくは布団からでられず、世話人さんの声掛けで起きている。本人は、「仕事行くのが嫌だなあ」と話していた。</p> <p>・スマイルの通所を減らして、身のまわりのことに集中する日をつくったほうが気持ちに余裕が持てるのではないか。</p>	
3	生活上のわからないことや困り事を相談できるようにになりたい	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<p>毎日夕方の面接の時間には、B型事業所のスマイルの話をよくしてくれる。就労するのは不安だと言っている。本当の気持ちは相談できていなようだ。</p> <p>・久さんの本音も、スマイルでの様子も知りたい。ピアハウスでの様子もお知らせして、久さんの希望にあった生活を支援したい。</p>	
4	楽しみをみつけない	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<p>昆虫の博物館行きたいという話にはなっている。仕事に疲れていて予定が決められない。</p> <p>・次回のサービス担当者会議(モニタリング)の際に、話し合う必要がある。</p>	

15 個別支援計画の中間評価(就労継続支援B型)

						利用者名 水道橋 久さん	
到達目標		達成状況の評価		現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位	
1	自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信を取り戻したい。	達成	ほぼ達成 一部達成	未達成 ・スマイルでの活動には慣れてきた様子。 ・詳細な評価は、別紙、就労アセスメント結果表を参照。 ・手順書や丁寧な説明があれば、集中して作業に取り組むことができ、作業の正確性や巧緻性も高く、この点はセールスポイントにできる。 ・環境の変化や予定の変更がある時にパニックにならず解決できるような方法を一緒に探す支援が必要。 ・時々就労についての不安を話す。	・スマイルの利用はこのまま続けたいと思っているが、生活との両立がうまくできない様子。 また、就労に向けての不安があり、気持ちの整理ができない様子。 以上のことを確認するためにも、サービス担当者会議を開催して、ご本人・支援者が改めて話し合う必要がある。		
2	遅刻をせずに事業所に通所したい。 バスを利用しての通所ができるようになる。	達成	ほぼ達成 一部達成	未達成 ・バス通所(慣れたところ)はできるようになった。 ・最近、朝起きれずに、バスに乗り遅れることがある。 ・遅刻連絡はできている。 ・疲れた様子で通所してくる時もある。	・毎日の生活に追われて、心身ともに余裕がない様子。 今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。 そのため、グループホームとの連携を密にして生活の様子を把握した上で支援の見直しをする。		
3	困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようになりたい。	達成	ほぼ達成 一部達成	未達成 ・毎週水曜日に面談の時間をもったが、自分の気持ちをうまく伝えることができず、今後、面談の進め方などにスタッフ側の工夫が必要。 ・自分のペースを乱されたり、せかされると、感情のコントロールができず、イライラしたりパニックになるのは、自分でもわかっている様子。すぐに相談に来れるような支援が必要。	・自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思い悩むことがあるよう。 就労アセスメントの結果を用いて、ご本人の得手として評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという意識合わせをしていく必要がある。		
4	楽しみをみつけない。	達成	ほぼ達成 一部達成	未達成 ・昆虫博物館に行きたいと話している。 ・自分では予定を決められない様子。 ・博物館視察を、希望者を募り、事業所の社会生活活動のひとつとして取り組めないか検討している。			

15 個別支援計画の中間評価(就労継続支援B型) 別紙
【就労アセスメント結果票】 氏名 水道橋 久さん

	評価項目	セールスポイント	問題なし	努力ポイント	所見
健康管理	1 服薬管理		○		
	2 体調管理			○	「疲れて余裕がない」と話すことがある
	3 食事栄養管理		○		
日常生活管理	4 基本的な生活リズム			○	朝起きられないことがある
	5 金銭管理		○		
	6 余暇の過ごし方		○		
	7 交通機関の利用		○		バス通所はできるようになった。
対人技能	8 感情のコントロール			○	自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラしたり、パニックになることがある
	9 苦手な人との接し方		○		自分なりに距離をとっている様子
	10 注意されたときの対応		○		丁寧な説明があるとパニックにならずに対応できる
	11 協調性		○		大集団の中では他の人が気になり落ち着かない様子
	12 欠勤等の連絡		○		自分で欠席・遅刻の連絡はできる
基本的労働習慣	13 あいさつ		○		慣れた人には丁寧にあいさつができる
	14 会話・言葉づかい			○	会話はできるが、内容を正確に理解すること、自分の意思を正確に伝えることは難しい
	15 作業上の報告・連絡		○		自ら報告、連絡することは苦手だがマニュアル化すればできる
	16 規則の遵守		○		
	17 体力			○	1日3時間程度の作業に従事できるが、精神面に左右される
	18 仕事の準備と後片付け	○			手順書があればできる
職業適性	19 集中力の維持	○			興味をもつと集中できる
	20 作業能力の向上		○		環境の変化によってムラがあるが、少しずつ向上している
	21 指示の内容の理解		○		早合点したり、わかっていない時でも返事をしたりするが、丁寧に説明すると理解できる
	22 作業の正確性	○			手順書があれば、作業をミスなくできる
	23 巧緻性	○			手先が器用である
	24 危険への対処		○		
	25 作業意欲			○	意欲はあるが、不安になると引きこもってしまう

配付資料【16 サービス担当者会議① 配役】

役名	氏名	役柄
本人	水道橋久	共同生活援助Gでは、「就労したい」が希望
父親	水道橋つばさ	共同生活援助Gでは、「まずはグループホームで力をつけて」
相談支援専門員	六本木はやと	あまりしきらず、本人の希望を聴いたうえで、それぞれのサビ管らに意見を言ってもらう。
A市福祉課	日比谷みずほ	
グループホームサービス管理責任者	川崎まさお	
世話人	豊田のぞみ	仕事よりも生活力をつけた方が良いと思っている。
就労継続支援B型サービス管理責任者	本田一郎	
生活支援員	鈴木さくら	生活も大事だけれど、仕事をする力がついたほうが良いと思っている。

配付資料【17 サービス担当者会議② 配役】

役名	氏名	役柄
本人	水道橋久	就労Gでは、「一人暮らしの力をつけたい」が希望
父親	水道橋つばさ	就労Gでは、「早く働けるようになったほうがいい」
相談支援専門員	六本木はやと	あまりしきらず、本人の希望を聴いたうえで、それぞれのサビ管らに意見を言ってもらう。
A市福祉課	日比谷みずほ	
グループホームサービス管理責任者	川崎まさお	
世話人	豊田のぞみ	仕事よりも生活力をつけた方が良いと思っている。
就労継続支援B型サービス管理責任者	本田一郎	
生活支援員	鈴木さくら	生活も大事だけれど、仕事をする力がついたほうが良いと思っている。

18 個別支援計画(変更案)作成の会議録(共同生活援助)

作成日: H●/●/●

利用者氏名	水道橋久さん		事業者名	グループホームピアハウス	
開催日時	H●/●/● (●)		サービス管理責任者氏名	川崎まさお	
開催場所	グループホームピアハウス「スタッフルーム」				
会議出席者	所属	氏名	所属	氏名	
	ご本人	水道橋久さん	世話人	豊田のぞみ	
	管理者	大阪みずほ	世話人	小玉ひかり	
	生活支援員	名古屋はやて	サービス管理責任者	川崎まさお	
現状および検討事項			検討内容・対応		
<p>○個別支援計画のモニタリング(中間評価)表参照</p> <p>○久さん 就労に向けては、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」という気持ちは変わらずあり、「3年後ぐらいにはまた働きたい」という意欲はあるが、朝起きられずグループホームの生活にまだ慣れないという心配も話してくれる。自分ではどうしたいのかを決めれないが、就労訓練は継続したいと思っている。 毎日の生活に追われて心身ともに余裕がなく、「自分はだめだな」と思う。「昆虫の博物館」に行ってみたい気持ちはあるが、仕事に疲れてなかなか行けない。自室の掃除や洗濯をするのが億劫になりできないことが多い。遅刻も増えている。</p> <p>○川崎(サービス管理責任者) 就労継続B型事業所スマイルの生活支援員からの情報を報告。 スマイルでは、製造や木工の作業を中心にプログラムを組んでいる。なるべく一人で集中できる作業環境を用意して取り組んでいる。 手先は器用であり、完成させる作業の製品の質は高い。しかし、持続力がなく、午後からは疲れてしまう様子がうかがえた。基本作業時間を3時間に延ばすことを試行したが現時点では困難だと判断していた。 毎週水曜日に面談の日を設けていて、「仕事は大丈夫です」と答えるが、自分の本心から言っているのかは定かではなく、どのように支援していけば良いのか迷っているとのこと。</p> <p>○豊田(世話人) 朝7時に目覚ましをセットしているが、1週間のうちに起きられた日は2日ほどあるかどうか。 洗濯と掃除、調理はこまめにしている。しかし洗濯などは、毎日する必要があるの？って、世話人が思うほど取り組もうとしている。また調理も毎日頑張ろうとしているので、こちらで洗濯と掃除、調理を行う曜日や時間を相談しながら決めてはどうか。本当は、夕食後に、楽しみにしている昆虫図鑑を見たりしたいようだが、疲れている様子で早く寝てしまう。しかし朝も起きられない。 以前にやりたい希望に話してくれた「昆虫博物館に行く」ことも、土日のお休みも疲れていて、外出する気はおきない様子。</p>			<p>○検討事項 ① 朝起きることができず、遅刻してしまうことが増えてきているので、安心して過ごせるリズムを考えていく。 ② 掃除や洗濯、調理は少し負担になってきている部分もあるので、1週間のなかでバランス良く計画をたてることを検討する。 ③ 楽しいことをする時間がなかなかとれないので、楽しむ時間を考えていく。</p> <p>○対応 ① 自宅から出て、グループホーム入居と就労訓練が併行して始まり、ご本人にとって、初体験することや新しいことが重なり、心身ともにストレスがかかっているように見える。久さんの気持ちの迷いや、自分一人では整理できない思い等があるため、早めのサービス担当者会議(モニタリング)を開催してもらいサービスの調整を行う。サビ管から相談支援専門員に連絡、依頼する。今後は、就労支援事業所スマイルと密に連携をとって、支援を組み立てていく。</p> <p>② 「就労したい」という気持ちは確認できるが、朝起きられなかったり、夜は疲れている様子もうかがえる。掃除、洗濯や調理もがんばってやろうという意欲は十分感じるので、その気持ちは大切にしていきたい。久さんがゆとりをもってできるようにするために、丁寧に説明し、あまり詰め込みすぎないようにガス抜きも伝えていく。 サビ管から1週間の過ごし方について話し合い、少しゆとりをもった生活ができるように本人と一緒に考えていく。</p> <p>グループホームの日課や週案については、この会議で案を作成し、後日、改めて久さんの気持ちを確認し、同意をもらい実施する。 具体的には、 ご本人が楽しみにしている時間を確保できるように、ゆとりをもたれるような支援をする。</p> <p>③ 楽しいことをする時間をあらかじめに週間予定に取り入れる。</p>		
今後の課題 および確認等			<p>・今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。そのため、就労支援事業所との連携を密にして支援の見直しをする。</p> <p>・ご本人が朝が起きられず、疲れている様子もうかがわれ、楽しむをする時間もないので、ゆとりをもった週間予定や毎日の時間設定を行い、ご本人の、強みを伸ばし、弱みを支援するという方向で、プログラムや支援を組み立てる。</p>		

19 個別支援計画(変更案)作成の会議録(就労継続支援B型)

作成日: H●/●/●

利用者氏名	水道橋 久さん		事業者名	就労継続支援B型事業所「スマイル」	
開催日時	H●/●/● (●)		サービス管理責任者氏名	本田一郎	
開催場所	就労継続支援B型事業所「スマイル」 相談室				
会議出席者	所属	氏名	所属	氏名	
	ご本人	水道橋 久さん	職業指導員	松阪てるお	
	管理者	所沢洋子	就労支援員	熊野ゆうこ	
	生活支援員	鈴木さくら	サービス管理責任者	本田一郎	
現状および検討事項			検討内容・対応		
<p>○個別支援計画のモニタリング(中間評価)表参照</p> <p>○ご本人から 就労に向けては、3年後には就職したいという気持ちと、このままでよいという二つの気持ちがあり、自分ではどうしたいのかを決めれない。就労訓練は継続したいと思っている。毎日の生活に追われて心身ともに余裕がなく、「自分はだめだな」と思う。自室の掃除や洗濯、調理は必要以上にがんばってしまい、疲れてしまう。遅刻も増えている。昆虫博物館に行きたい気持ちはあるが、疲れてしまいなかなか行くことができない。</p> <p>○生活支援員から GHピアハウスの世話人から聞き取った生活の様子を報告。帰宅後、疲れている様子。家事は必要以上にがんばってしまい、そのことで更に疲れてしまうことが課題。また、しばしば「自分はだめだ」と思い悩む傾向が強くなっているのが心配。GHでは、スマイルの利用時間を減らし、ゆっくり身の回りのことをする日課設定を検討中とのこと。また、朝起き難いとのこと遅刻が多い。遅刻の連絡は必ずあるが、その電話をかけるのもストレスになっているかもしれないと感じる。</p> <p>○職業指導員から 就労アセスメントに基づいて、製造や木工作業を中心にプログラムを組んでいる。経験としてその他の下請け作業にも参加してもらったことがある。下請け作業も手先の器用さを活かしてそつなくやっている。しかし、集中力ができずに、すぐ疲れてしまう様子で、基本作業時間を延ばすことを試行したが現時点では困難だと判断している。毎週水曜日に面談の日を設けたが、自分の気持ちをストレートに話すことができず、黙り込んで殻に閉じこもることがある。面談日の設定や、面談の進め方を検討したい。</p>			<p>○検討事項 ①就労訓練と安定した生活を送るための支援を同時に継続していくかどうかを検討する。 ②就労に向けて前向きに取り組めるプログラムや支援内容を具体的に考える。過度のストレスにならない日課や週案を提案する。 ③面談の設定、面談の進め方を検討する。</p> <p>○対応 ①グループホーム入居と就労訓練が併行して始まり、ご本人にとって、初体験することや新しいことが重なり、心身ともにストレスがかかっているように見える。ご本人の気持ちに迷いや、自分ひとりでは整理できない思い等があるため、早期にサービス担当者会議を開催して、サービスの調整を行う。サビ管から相談支援専門員に連絡、依頼する。今後は、グループホームと密に連携をとって、支援を組み立てていく。 ②「就労したい」という意思是確認できるが、「自分では決めれない・自分に自信がない」等、前向きな思考ができない。就労アセスメントの結果を再度丁寧に説明し、自分の強みや得意なことを確認する。ご本人が納得できるように、何度も繰り返して一緒に確認し、話し合う。アセスメントの結果説明は職業指導員が担当する。 就労訓練の日課や週案については、この会議で案を作成し、サービス担当者会議に提案する。後日、改めてご本人の気持ちを確認し、家族・グループホーム側の同意をもらい実施する。具体的には、就労訓練は午前中のみの2時間を基本作業時間とする。昼食後に帰宅する。ご本人が得意とし、評価も高い、手先の器用さと製品の完成度が求められる作業だけに取り組み、成功体験・達成感が感じられるような支援をする。 ③ご本人が話しやすい人間関係を作るため、面談日を増やし、面談担当は変えず、生活支援員の鈴木が行う。</p>		
今後の課題および確認等			<p>・今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。そのため、グループホームとの連携を密にして支援の見直しをする。 ・ご本人が自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思い、思い悩むようなので、就労アセスメントの手法を用いて、ご本人の得意として評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという方向で、プログラムや支援を組み立てる。</p>		

20 共同生活援助事業所 で行う個別支援計画の一例 (変更案)

利用者氏名: 水道橋久さん

作成年月日 H29 / ● / ●

【総合的な援助の方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようにする」という目標が達成できるように支援する。
(★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)

【到達目標】 掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。 ★主語は「ご本人は・・・」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」

- ①グループホームの生活に慣れる ②決まった時間に起きる。 ③困りごとを相談する。
- ④生活上の楽しみをみつけるための相談をする。

【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」

- ①掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身につける。②わからないこと困りごとや相談して解決できるようになる。③この間にみつけた生活上の楽しみを続ける

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標 ★主語は「ご本人は・・・」	本人の役割 ★主語は「ご本人は・・・」	支援内容 (内容・留意点等) ★主語は「支援者は・・・」	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
自分でできることを増やしていきたい	掃除や洗濯、調理など、まずは出来ることからやってみます。分からない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方、料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。 毎日すると疲れてしまうので、曜日を決めていきましょう。	火: 洗濯 水: 掃除 木: 調理 土: 洗濯	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい	ゆっくり入浴して、1時間早めに就寝する。目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	ゆっくり入浴して、1時間早めに就寝するリズムをつくることをお手伝いします。目覚ましが続いていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。遅刻しそうな日は、朝食をおにぎり弁当をつくります。	月～金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい	わからないことや困りごとは早めに相談します。引き続き、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話していきます。	わからないことや困りごとはいつでも話を聞きます。 毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時はいつでも 毎日 夕方 5時	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
楽しみをみつきたい。	昆虫などの趣味や友だち活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。 日曜日に1時間の趣味の時間をつくります。	久さんが楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。 昆虫の博物館のパンフレットを取り寄せて、見学の計画をたてましょう。 日曜日の趣味の時間をうまくつかえるように支援します。	第2・第4土曜日 朝10時 日曜日 朝10時	川崎 (サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日: 平成 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名 川崎

印

21 就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画の一例(変更案)

利用者氏名: 水道橋 久さん

作成年月日 H● / ● / ●

【総合的な援助の方針】

(グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。
★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)

【到達目標】【到達目標】

自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3年後には一般就労をして立派な人になる。★主語は「ご本人は・・・」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」

- ①日常生活を見直して、生活リズムを整える。
- ②不安に思うことは何でも相談できるようになる。

【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」

- ①グループホームで安定した生活を送りながら、就労訓練に取り組む。
- ②基本作業時間を4時間に設定できるようになる。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標 ★主語は「ご本人は・・・」	本人の役割 ★主語は「ご本人は・・・」	支援内容 (内容・留意点等) ★主語は「支援者は・・・」	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分の強み・弱み、得手・不得手を知りたい	自分の強み・弱み、得手・不得手を、分析しましょう。	就労アセスメントの結果を丁寧に説明し、一緒に、自分の強み・弱み、得手・不得手を具体的に分析する時間を持ちます。 セールスポイントになる手先の器用さと完成度の高さが評価できる作業プログラムを優先的に作ります。	月～金 10:00～13:00	本田(サビ管) 松阪 (職業指導員)	3
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	困ったことや心配事がある時、気持ちが不安定になり、パニックになりそうな時は、すぐにスタッフに相談しましょう。	月と金の活動後に面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。 何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。	面談:毎週月・金曜日 13:00～ 困った時・不安な時はいつでも	松阪 (職業指導員) 鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	2
生活リズムを整えるため、日常生活を見直したい	就労訓練は午前中のみに設定し直しましょう。 通所時間を少し遅くして、自分のペースで通所の準備をしましょう。	就労訓練は毎日午前中の2時間に設定し、昼食後に帰宅できるようにします。 生活支援員が、通所や生産活動に取り掛かるまでの時間の流れを具体的に一緒に考えます。 グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援します。	月～金 10:00～13:00	鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	1

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

就労継続支援B型事業所「スマイル」

確認年月日: 平成 年 月 日 利用者氏名 印

サービス管理責任者氏名 本 田 一 郎 印